社会資本総合整備計画　事後評価書（案）

計画の名称	みやしろの都市基盤における良好な水環境の創造		
計画の期間	平成27年度　～　平成31年度　（5年間）	交付対象	宮代町

計画の目標

下水道の整備により、都市基盤に良好な水環境を創造し快適な暮らしを実現させる。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道による雨水整備達成率を99.2%（H27当初）から100%（H28末）に増加させる。
②下水道による汚水整備達成率を99.7%（H27当初）から100%（H28末）に増加させる。
③宮代町第一及び第二中継ポンプ場における長寿命化対策実施率を0%（H27当初）から76.9%（H31末）に増加させる。
④宮代町第一及び第二中継ポンプ場における耐震化対策実施率を0%（H27当初）から100%（H31末）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H27当初）	中間目標値（H29末）	最終目標値（R1末）	備考
① 下水道による雨水整備達成率 雨水整備済み面積（ha）／下水道事業計画認可面積（353.4ha）	99.2%		（H28末） 100.0%	
② 水道による汚水整備達成率 汚水整備済み面積（ha）／下水道事業計画認可面積（353.4ha）	99.7%		（H28末） 100.0%	
③ 宮代第一及び第二中継ポンプ場における長寿命化対策実施率 対策を実施した施設数　２３点／対策が必要な施設数　２６点	0.0%	38.5%	76.9%	
④ 宮代第一及び第二中継ポンプ場における耐震化対策実施率 対策を実施した施設数　１７点／対策が必要な施設数　１７点	0.0%	60.0%	100.0%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	588百万円	A	588百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%

事　後　評　価　（中　間　評　価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
宮代町下水道事業審議会	令和3年2月
	公表の方法：宮代町ホームページ

1．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1　道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	R1	全体事業費（百万円）	備考
中央排水区																	
A1-1-1	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	雨水	設置	中央第8排水区（浸水対策）	中央第8排水路整備Ｌ＝102.0km	宮代町	━	━				16	
中川処理区																	
A1-2-1	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	汚水	新設	宮代第６号汚水幹線（未普及解消）	Φ200　L=375.0m	宮代町	━	━				16	
A1-2-2	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	ポンプ場	改築	第一及び第二中継ポンプ場長寿命化対策事業	実施設計、施設の改築、更新	宮代町		━	━	━	━	445	
A1-2-3	下水道	一般	宮代町	直接	宮代町	ポンプ場	改築	第一及び第二中継ポンプ場耐震化対策事業	実施設計、施設の耐震化工事	宮代町		━	━	━	━	111	長寿命化
													合計			588	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

①中央第8排水路を整備したことにより下水道による都市浸水対策達成率が増加した。
②第6号汚水管線等を整備した結果、下水道処理人口普及率が増加した。
③第一及び第二中継ポンプ場の機械及び電気施設等の更新工事を実施したことにより、施設の長寿命化となった。
④第一及び第二中継ポンプ場におけるの耐震化工事を実施したことにより、施設の安全性が向上した。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標			目標値と実績値に差が出た要因	
指標①（都市浸水対策達成率の割合）	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
	最終実績値	100.00%		
指標②（下水道処理人口普及率の割合）	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
	最終実績値	100.00%		
指標③（ポンプ場における長寿命化実施率）	最終目標値	76.90%	目標値と実績値に差が出た要因	単独費の執行により当初予定していた機器よりも多くの更新を前倒しをして実施した。
	最終実績値	88.50%		
指標③（ポンプ場における耐震化実施率）	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
	最終実績値	100.00%		

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

３．特記事項（今後の方針等）

公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、今後も社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていく。